

# 砂の廃墟に降りた。

clo&chibastian + masa2sets

領域探査  
デザイン  
と古びる

## 封印記念CD制作。

廃墟のために歌うシャンソン。やがて来る解体の日に、皆で口ずさんで見送れたらいいなと。

コンセプト



2曲入り(歌詞付)・限定200枚  
2009.02.21 発売・定価 ¥1,000(税込)

### 砂の廃墟に降りた。

2007-2009封印記念、九段下テラスのうた

詞・曲 / clo&chibastian

制作 / masa2sets

YAKKIN RECORDS

写真 / Toshio Tanaka

+Noriko Shindo

企画監修 / 領域探査デザイン

予約・問合せ先 / www.ryooikitansa.com

CD情報

#### 九段下テラスのうた。

廃墟のままに賃貸物件。いいオトナ達がシゴトの技術を遊びに使うことに夢中だった時間と場所の名前、九段下テラス。企画を終えた今、確信したことがある。私が必死で作ろうとしていたのは、この場所に目的を持った人々によって達成される「ドラマ」だったんじゃないかと。だから、「始まり」と「終わり」に歌が必要と感じたのはたぶん自然なことだった。

#### 始まりのうた。

「そのまま存在していた場所」は同タイトルで公開された写真展と融合して光の差した場所を歌い、活動の応援歌として成功した。http://www.ryooikitansa.com/pdf/ev03\_report.pdf

#### 終わりのうた。「砂の器化計画～封印式」

梅雨入りしてまだ間もない晴れ予報の日に、私は砂のテーマ曲を彼らに依頼した。いつか活動を振り返るとき、この場所のことを一つの歌で覚えていたいと思ったのは本当だ。「そっと砂の廃墟に戻す儀式みたいなもの。」実のところ、最後の企画をこう表現したとき、私には封印式に至る先の過程がまだ見えてはいなかった。

夏を過ぎ、砂の器化計画が的確なイメージ持って動き出したとき、期限の到来、契約条件の変更、土地所有者の事情、アーバンコーポレイション破綻、リーマンショックなど押し寄せる様々な出来事のみこんで、事態は急速に終わりに向けて収束していったのだった。

この場所は廃墟として終わることがふさわしい。なるべくしてなった廃墟、いつも制約の輪郭を試してきた私にはそれがわかった。

そっと廃墟に戻そう。--昨年102歳で逝った祖母とイメージが重なった。

**封印式。** 蒼く暮れかかるテラスに出て、彼らが建物に対峙して歌うのを皆で見守った。

『私たちはそこにいなかった』『細かい砂 ちょうどあなたはその上に立っている』<抜粋>この謎めいた歌詞は予言のように響くけれども、未来に残した何かを、私はどこかで探っている。解体の日はやがて来る。かつて自分が居た場所の砂の上に降り立つとき、初めて詩の意味するところを知るような気がしている。この歌に問い返し、何度か口ずさんだ後に。(企画者)

- 曲目
1. Pleine lumière - Comme il reste intact  
たくさんの光の中-そのまま存在していた場所
  2. Au fond de vos cœur  
あなたの心の奥に

#### clo&chibastian

フランス語で歌うシャンソン+ギターのデュオ。過去の古ビルイベントで結成以来、九段下テラスでは領域探査デザインがイメージソングを依頼。場所の表現者として重要な位置を占めた。

#### masa2sets

マサが2人でマサツーセツ。男性Wボーカル、アコースティックギターでロックを奏でる。それぞれが別のバンドのボーカルとして活躍する傍ら'06年、masa2sets結成。いつも場に元気をくれる。www.masa2sets.com

- スケジュール
- '07.11.18 写真展「そのまま存在していた場所」を展示する。出演(c&c)、始まりのうたリリース  
Pleine lumiere - Comme il reste intact
  - '07.12.23 キャンドルナイト、クリスマステラス出演(c&c+m2)
  - '08.11.15 砂の器化計画「砂の灯りライブ」出演(c&c+m2)  
終わりのうたリリース Au fond de vos cœur
  - '08.11月 問合せに応じCD化を検討
  - '08.12.23 砂の器化計画クリスマスライブ出演(c&c+m2)
  - '08.12月 共同CD化の意志確認、デモ版作成
  - '09.01月 録音・編集・ジャケットデザイン検討
  - '09.02.21 アレンジ、デザイン決定、発注、販売